



正門から母校校舎となぎなた部の活躍の懸垂幕を望む

第47号

題字 西 春彦 著

○発行所 川辺高等学校東京同窓会

○発行日 令和5年11月11日

○編集発行人 森山昭利

○印刷所 株式会社 盈進社 ☎03(3262)3471

巻 頭 言

第四十七回東京同窓会・懇親会

令和五年五月二十日(土)の前々日は三十度を超す真夏日で心配しましたが、当日は幸い気温二十三日と五月らしい陽気で、第四十七回川辺高等学校東京同窓会の総会・懇親会の開催を迎えました。

受付開始は午後十一時からでしたが、午前十時過ぎには年度幹事の五十三年卒と四十三年卒会員に加え、各役員も集合して、準備作業を始めました。結果的に参加者総数は昨年を二十名以上超えて、ご来賓を含めると七十七名となりました。

本総会には、高田政雄本部同窓会長、前田裕一校長先生が、ご来賓として参加されました。なお前夜はご来賓を交えて、東京同窓会の会長はじめ役員有志との交流会が催され、母校の現状や課題などについて熱の入った意見交換を行いました。

午後十二時となり開会の宣言後に、森山会長が議長となって総会が開催されました。

この一年で役員や幹事の逝去が相次いだこともあり、物故者へしめやかな黙祷を捧げた後、議長から簡単な挨拶がありました。

次に議長から、第四号議案の役員改選案に関して、一人の役員から総会直前に個人的事情で退会申出があり、同役員の再任案を退任案に修正する旨の説明がありました。

続いて、第一号議案・会務報告、第二号議案・会計報告、第三号議案・会計監査報告、修正後の第四号議案・役員改選の四議案をまとめて審議したあと、一括して賛否を諮りたいとの提案がなされ、出席者全員から異議なく承認されました。

休憩に続いて懇親会となり、はじめに会長から来賓のお二人の紹介があり、続いて故郷から本総会・懇親会に特別参加のため上京した、昭和四十一年卒の中蘭幸男、野中正、山下明世の三氏が紹介されました。



総会・懇親会の全景と校旗

続いて、高田本部同窓会長が挨拶の冒頭で菊野病院の菊野光郎医師の訃報を紹介されました。長く母校や同窓会の良き理解者であった同氏は旧制川辺中学校を昭和十六年に卒業されました。百歳近い大往生とはいえ、高田会長の哀惜の念が強く感じられて心を打たれました。

その後、コロナで一年延期となった母校の百二十周年記念を昨年開催したこと、卒業生の支援に対する感謝を述べられました。さらに、同窓会活動への若年層の参加減少への危惧、同窓会名簿での掘り起しの必要性なども訴えました。

続いて、高田会長の音頭で全員起立して乾杯し、待ちかねた語らいの時、そして焼酎タイムの始まりです。できるだけ近い卒業年次を同じテーブル席にした効果もあって、すぐにあちこちのテーブルで賑やかな笑い声や歓談の輪が広がりました。

ひとしきり歓談が進んだところで、前田校長のご挨拶と母校の現状報告が始まりました。

前田校長が今年の新入生は三十五名にとどまり、地元の川辺中学校と知覧中学校からの入学生も、それぞれ五名と少なかったことを紹介されると、会場の参加者からは驚きの声が上がりました。生徒が私立高校に取られている状況から、積極的に地域に出て行ってアピールする必要性を強調されました。



前田校長通信「神戈陵を渡る風」母校の廊下にも掲示

また、校長自ら生徒とのコミュニケーション推進のため、ホームページで定期的に「神戈陵を渡る風」(校長通信)を発信していることも紹介されました。そのあとは再び歓談の時間となりましたが、やがて川辺中学校校歌として川辺高等学校校歌が順に流されたあと、小原東洋明氏(前東京同窓会長)の音頭で、にぎやかに一本締めを行いました。

最後に、峯苦副会長による閉会の挨拶があつて、第四十七回東京同窓会総会・懇親会は終了しました。

川辺高校東京同窓会の年間活動のもう一つの柱に会報誌「神戈陵」の発刊があります。会員相互の絆作りや母校の動向を知るなど、意義ある取り組みと考えています。

今年は特別寄稿として銚子ジオパークの中で世界的に注目された「チバニアン」にも触れていただきました。

お目通しただければ幸いです。

昭和四十九年卒 蔵元明洋



コロナ雑感

東京同窓会会長
昭和41年卒 森山 昭利

あれほど騒がれた新型コロナも令和5年5月からは、総合的に危険性が最も低いとされる「季節性インフルエンザ」などと同じ5類感染症に変わりました。これを受けて、ワクチンの接種証明の提示は不要となり、マスクの着用についても個人々の任意とされるなど、日常生活面での制約が大幅に軽減されたことは喜ばしい限りです。

川辺高校東京同窓会の活動面においても、5月の総会・懇親会ではアクリル板は設置されず、食事も当初予定していた個室ではなくバイキング形式での提供となり、きわめて開放的な形式で開催することが出来ました。

ただ、テレビで映る海外の風景や国内の旅案内番組を見ると、マスクの不着用をはじめコロナを軽視する風潮が蔓延しているように見えたりしません。暑い中でもマスクを外さない自分としては、きわめて個人的な受け止め方とはいえ、昨年来

でのコロナ騒ぎは何だったのかという気持ちです。これには政府が経済立て直しを優先して、感染症の分類引き下げや感染者数の定期的な公表を中止したことが、国民の受け止め方に大きく影響を与えたのではないかと考えます。日々感染者数や死者数が発表されていた時に比べて、国民がコロナ渦を真剣に考える機会は格段に減少していると思います。

うがち過ぎかもしれませんが、戦前の日本やロシアなどをはじめとする独裁国家はもちろん民主主義の国々においても、為政者が提供する情報の質や量を加減するだけで、国民の行動を意図する方向に誘導することが容易になりつつあるように思えます。これが、単に年寄りの思い過ごしであって、大して心配するに及ばないものと信じたいところで、とはいえず、自分自身ではコロナの新型登場のニュースに不安を募らせ、ワクチン接種の案内を受けると、悩みながらも接種に赴くことになる

のは仕方ないと思っっている次第です。悩みといえば、私的には東京同窓会の運営に関する悩みがもつと大きく、特に高齢化に伴う会員数の減少はやむを得ないとしても、新入会員の減少に歯止めがかからないことには、これといった対応策が見つからず苦慮しております。当面は現会員のうちで昭和50年以降卒業の会員の皆さんに、幹事会や評議員会への参画をお願いして、事務局に対する「知恵袋」となつて、同窓会の運営に助言をいただけないかと考えております。

神戈陵第47号がお手元に届きましたら、50年卒以降の皆さんから積極的なご意見をいただきたく、会長としてこの機会にお願いする次第です。コロナ禍が収まるのを期待しながら、これからの同窓会運営と一緒に汗を流していきたいでしょう。



41年組の鹿児島からの特別参加者
前列左から中菌さん・野中さん
後列左から2番目の山下さん
ご参加、有難うございました。



本部同窓会会長挨拶

本部同窓会会長
昭和48年卒 高田 政雄

川辺高校東京同窓会の皆様、ご健勝
でお過ごしでしょうか。日頃から同窓
会事業にご協力をいただき感謝申し上
げます。

五月の同窓会総会にはご招待をいた
だきありがとうございます。皆様が大
変お元気で活気あふれるご様子を拝
見して私も元気をいただきました。そ
して、コロナ禍前のような状態に早く
戻ればと感じました。また、同級生と
も久しぶりに会うことが出来て私自身
が楽しい時間を過ごすことが出来まし
た。ありがとうございます。六月に
開催された「神戈陵塾」では貴同窓会
の有村公美子さんにご講演をいただき
生徒の皆さんも真剣に聞き入っていま
した。夢実現に向けて一助となったと
思います。

ところで、厳しい状況にあるのが、
入学者数の減少です。少子化で中学校
の卒業生が減少していますが、それ以
上に本校への入学希望者が少なく今年
の一年生は三五名でした。現在は全校
で四クラス一三二名です。更に来年の
希望者は八十名の募集に対して八月時
点では四十名です。この状況を重く受
け止め学校・同窓会が一体となって生
徒募集に繋がるよう各種施策や活性化
事業に取り組んでいるところです。

このような中でも、生徒の皆さんは
夢実現に向けて頑張っています。毎年
卒業生の二十パーセント以上の生徒が
国公立大学へ進学するなど、三年間で
しっかり成長してきています。また、
なぎなた部は県代表として北海道総体
に出場し、十月の鹿児島国体にも出場
することになっています。

同窓会としては母校教育の発展のた
めに引き続き支援を充実していきたい
と思いますので、今後とも同窓会の運
営にご支援、ご協力をお願いします。

最後に東京同窓会の益々のご発展を
ご祈念申し上げます。



「川辺高校の新たな挑戦」

川辺高等学校校長 前田 裕一

今年は、4年振りに五月の東京同窓会に
高田本部同窓会長と一緒に参加させて頂き、
大変感謝いたしております。しかし、新型
コロナウィルスの感染症は完全に克服でき
たわけではなく、いまだに生徒や職員に感
染者が出ており、加えて、インフルエンザ
の感染者も発生し、なかなか心が安らがな
い状況が続いております。

さて、今春のWBCでは、大谷選手が注
目され、日本中が熱狂しました。その後の
MLBでの大活躍は目を見張るものがあり、
歴史的な瞬間に直面しているようです。今
年の夏も全国的に酷暑に見舞われ、どこに
いても暑さからは逃れられません。皆様は
おかれましても猛暑日や熱帯夜が続いてお
りますので、どうぞ体調管理に十分気をつ
けてお過ごしください。

それでは、最近の学校の新たな挑戦を紹
介いたします。現在学校行事は、ほぼ完全
に従来のような開催が可能となりました。
そこでPTA総会では、総会資料をPD
F化し、事前に全保護者にデータを送信す
ることで、総会時間を大幅に短縮するなど、
行事をそのまま元の形で行なわず、新たな
視点と試みを付加して開催することを目指
してきました。他の行事についても同様に
計画を進めております。部活動においては、
地区大会や県大会はすべて実施され、8月
に行われる全国高校総体(インターハイ・
北海道開催)に、「なぎなた部」が団体・
個人、演技のすべての部門に出場します。

また、地元伝統行事の川辺祇園祭は、従
来の形式で4年振りの開催となり、多くの
辺高生が参加しました。また、「総合的な
探究の時間」に向けて色々な地域連携を取
り入れた活動を推進しています。昨年も申
上げましたが、この活動で「郷土を知り、
郷土を学び、郷土を愛する」ような辺高生
を育てようとチャレンジしております。

更に5月に述べた、SDGsプロジェク
トを南九州市の協力を得てガバメントクラ
ウドファンディングによる資金調達を行い、
この夏「教室の断熱改修プロジェクト」に
挑戦中です。これは九州では初の試みであ
り、多くのマスコミにも注目されておしま
す。具体的には、本館三階の普通教室の一
つを天井裏にガラスウールを敷き詰めたり、
断熱シートを窓ガラスに貼り付けるなど改
修することで、教室の断熱改修に取り組み
ます。結果、クーラーの効率を上げること
で、消費電力を抑えながら夏涼しく冬暖か
い教室を実現します。今後も、新たな地域
連携の場を広げ、「地域になくってはならな
い高校」として川辺高校が存在し続け、生
徒の「夢の応援団」として、教職員と同窓
会員と協力して出来るように、学びの場を
充実していく所存です。

平素から東京同窓会の皆様には、本校の
教育活動に対し深い御理解と多大なる御支
援を賜っており、厚く御礼を申し上げます。
併せて東京同窓会の今後ますますの御発展
を祈念いたしまして御挨拶とさせていただきます。

特別寄稿

銚子ジオパークの紹介

銚子ジオパークの紹介

銚子市教育委員会 上田 脩郎 (平成20年卒)

銚子市の概要

千葉県銚子市は、太平洋に突き出た半島で、関東最東端に位置します(図1)。江戸時代に利根川が銚子で太平洋へ注ぐ流路へと改変されたことにより、利根川の水運を活かした流通の拠点として栄えました。これに加えて、醤油醸造や漁業も発展したことで、千葉県内で銚子市に続き2番目に市制施行されました。現在は、景観や海産物グルメを目的に多くの観光客が訪れる町です。そんな銚子市は、市全域が「日本ジオパーク」に認定されています。

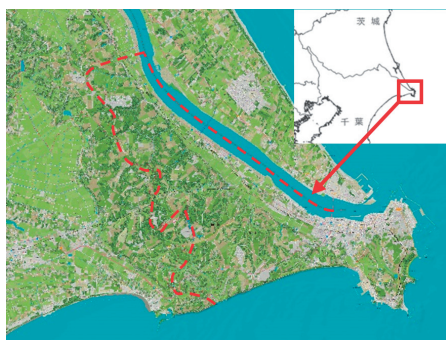


図-1 銚子の位置図 (右上・左下図: 国土地理院地形図を編集) (左下図の承認番号 R3JHs 251-GISMAP51087号)

す。私は昨年より、銚子ジオパークを運営する職員として当市に勤めています。

ジオパークについて

ジオパークとは、ダイナミックな地球の活動がよくわかる地質や景観が大切に守られ、教育や持続可能な開発に活用されている地域のことです。地球のことを知り、地球と共にそこに生きる人々の暮らしを未来に残すための取り組みなのです。

銚子では、太平洋に突き出た半島という地形条件が、旧石器時代からの人々の暮らしを支え、現在も豊かな漁業、農業、醸造業、風力発電を育んでいます。ここでは、大地と人の暮らしの関わりを体感して楽しむことができます。



図-2 銚子ジオパークのロゴマーク

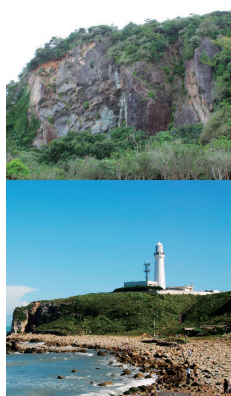
銚子ジオパーク、太平洋に突き出した2億年の大地の物語

銚子で最も標高が高い愛宕山(73.6m)。プレート活動によって形成された、千葉県で最も古い約2億年前の地層でできています(写真1a)。

銚子の犬吠埼周辺の海岸線には、約1億年前の白亜紀に海の底でたまった地層が見られ、アンモナイトやコハクなど多くの化石が見つかっています。

また、犬吠埼灯台真下の地層は、当時の浅い海でできた痕跡がよく残っています。国の天然記念物に指定されています(写真1b)。

写真1a 愛宕山東部
写真1b 犬吠埼の石切り場跡



これら1億年以上前の地層は、千葉県では銚子でしか見ることができません。銚子周辺はプレートの力で局所的に隆起しています(図13)。長い年月をかけて大地が押し上げられた結果、東京周辺で地下3,000mに潜り込んでいる古い地層を地上で目にする事ができるのです。

海の高さが現在と同じくらいだった



図-4 約12万年前の関東地方の様子 (増田(1992)をもとに作図)

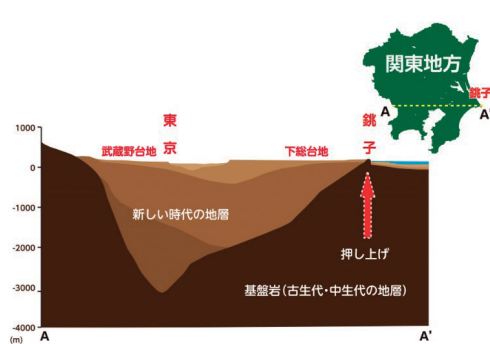


図-3 関東地方の東西断面図 (貝塚ほか(1985)を改変)

12万年前頃、関東の大部分は海でした(図14)。この時代、古くて硬い銚子の地層は、侵食されずに孤島として残りました。その後、周辺の隆起や陸地から土砂が運ばれてきたことで、陸地とつながり、現在の半島が形成されま



写真-2 屏風ヶ浦
(国指定名勝及び天然記念物)

した。そして、かつて海でたまった地層が隆起したことで、平坦な台地「下総台地」が作られたのです。
屏風ヶ浦は、銚子市の犬岩から旭市の刑部岬まで約10kmにわたって続く、下総台地が海の波によって削られた崖です(写真1-2)。落差20〜60mの切り立った崖は、やわらかい地層からできており、かつては年間50〜100cmもの速さで削られていました。常に削られていたおかげで、崖面にあまり植物が生えず、地層の縞々模様が美しい特徴的な崖が形成されました。この雄大な景観は、江戸後期以降、多くの出版物に取り上げられるようになり、歌川広重の「六十余州名所図絵」にも描かれました。最近ではドラマ、CMなどの撮影にこの景色が使用されています。



写真-3 高田川の露頭

隆起したことで、陸上で見ることができ、世界的にも珍しい場所なのです。隆起された大地が急激に侵食されることで形成された屏風ヶ浦の景観は、美しいだけでなく日本列島の大地のダイナミックスをも教えてくれます。
銚子でも見られるチバニアン
銚子市の高田川周辺では、「チバニアン」で有名な千葉県市原市の「養老川流域田淵の地磁気逆転地層」と同年代の77万年前頃の地層を見ることができ、(写真1-3)。「チバニアン」とは77・4万年前から12・9万年前のことを示す時代の名前です(図1-5)。令和2年1月に、日本の地名に由来した初めての地質時代名に決定しました。高田川の地層は、田淵の地層と地下で続いており、同じ時代、同じ海域で堆積した地層となります。

地球の時代を分けるとき、生物の出現や絶滅などの地球規模の大きな出来事を示す化石が使われることが多いですが、地磁気の逆転が起こった時期なども併せて使われています。
方位磁石のN極が北を向くことからわかるように、地球には磁場があり、このような磁場を「地磁気」と呼びます。地球の長い歴史を見ると地磁気は何度も逆転したことが分かっています。そして、地球の歴史で最後に地球のN極とS極がひっくりかえったイベントが、科学的観点からみて世界で一番よく地層の中に記録されているのが田淵の地層なのです。そのために、地磁気が逆転した前期更新世と中期更新世という時代の境界の世界的な模式地選ばれました。



図-5 主な地質年代区分図

しかし、地磁気の逆転は目で見てわかりません。田淵では地磁気の逆転した境目の約1m下に、昔の御岳山が噴火したときに飛んできた「白尾(びやくび)火山灰層」を見ることができ、地磁気逆転層付近にあり、誰が見てもわかるので、ここがチバニアンの始まりになったのです。
残念ながら、銚子の高田川の地層には白尾火山灰層はありません。その代わりに、Yk80という火山灰層があります。地質学者の銚子周辺の詳細な研究により、Yk80の約20cm下に地磁気逆転層があり、さらに20cm下にチバニアンの始まりがあると推測されています。つまり、銚子ではYk80がわかると、この火山灰層を目印にチバニアンの始まりや地磁気の逆転層の位置が予想できるのです。

おわりに

神戈陵(標高72m)は、約3万年前に錦江湾北部から噴出した入戸火砕流の堆積物でできた丘陵です。学び舎から何気なく見ている景色にも壮大な地球史が刻まれていると考えると感慨深いものがありますね。

【参考文献】

- 貝塚爽平・成瀬洋・太田洋子(1985) 日本最大の盆地―関東平野。日本の自然4日本の平野と海岸
- 増田富士雄(1992) 古東京湾のバリアー島。地質ニュース

陵友だより

世界マスターズ水泳選手権大会 二〇〇米 自由形「銅」

昭和41年卒 小椋さん



表彰台の小椋さん

七月三〇日閉幕した世界水泳選手権二〇二三福岡大会の興奮冷めやらぬ中、八月二日～一日の一〇日間、世界八〇ヶ国から約八千名が集結し、世界マスターズ水泳選手権二〇二三九州大会が開催されました。マスターズ水泳選手権は水泳の普及を目的に、あらゆる世代へ水泳の浸透を図るべく年代別（五才毎）に

区切って覇を競う大会です。往年のオリンピック選手から一般の水泳愛好家まで幅広く参加しています。

日本マスターズ水泳選手権は一八歳以上の健康な方ならどなたでも参加できますが、世界マスターズ水泳選手権は二五歳以上・各国の公式競技で標準記録を突破した方に参加資格が与えられます。

小椋みつ子さん（昭和四十一年卒・旧姓小原）は女子七五～七九歳の部、一〇〇米・二〇〇米自由形の二種目にエントリーし、一〇〇米自由形では惜しくもメダル獲得なりませんでしたが見事四位に入賞、二〇〇米自由形は米国・チリの選手に続き三位に入賞、銅メダルを獲得しました。

世界の壁は高かった

小椋さんは五〇歳代から日本マスターズ選手権に出場し、以来二五年もの間泳ぎ続けてきました。

本年、二年毎に世界各地の都市で開催される世界大会が三七年ぶりに日本で開催されることとなり、出場機会に恵まれました。

先に臨んだ一〇〇米自由形では、「ワクワク」感と共に「ドキドキ」と胸が激しく高鳴り、初めての世界



メダルと表彰状を手に優勝の米国人と小椋さん（右）

大会出場で過度に緊張していたこと、また気負いも加わり、本来の力が発揮できなかったようです。

次の二〇〇米自由形では、一〇〇米自由形での緊張と気負いの反省、また世界との力の格差を思い知らされたことから、これまで泳いできたマスターズ水泳の原点に立ち返り「楽しんで」泳ぐことを心掛けたそうです。米国・チリの選手に続き三位入賞を果たしましたが、世界とのタイム差は大きく、世界の壁は高かったと語っています。

水泳の勧め

小椋さんの水泳との出会いは、交通事故のリハビリとお聞きしています。水に入って歩くことから始めたようですが、今では心も体も復調し、マスターズ水泳選手権を楽しむまで

なっています。

水泳が心と体の健康維持に効果的であることは勿論ですが、もう一つの楽しみは交流の輪が広がることにもある様です。水泳仲間との語らいは楽しいひと時で、元東京オリンピック選手故木原光知子さんとの出会いは、掛替えない思い出として小椋さんの心に残っているようです。

小椋さんは「水泳は人生を豊にしてくれる生涯の友」だと語っています。これからも命の続く限り永遠に泳ぎ続けることでしょう。

皆さん、健康と心の安寧・仲間作りを求めて水泳始めてみませんか。

（レポート T・O）

人生の分岐

ソフトボールは私の人生を豊かにしてくれました

昭和41年卒 佐多ふく子

（旧姓・千田）

川辺高校に入学して、何かのクラブ活動に所属しなければならぬとの事で、私は珠算クラブを第一希望、そして第二希望をソフトボールクラブとして提出しました。

珠算クラブの教室で待っていると、



会社のソフトボール部の仲間。前列中央が筆者

ソフトボールクラブの顧問の先生が、千田さん第二希望のクラブへ行きなさいと、見事に珠算クラブは却下されました。まさか希望どおりのクラブへ入れないとは！ソフトボールは小学校の時に、キャッチボールを何回か遊んだ程度でしたが。仕方がない、これも何かの縁と、2年間所属し対外試合にも参加しました。しかしながら勝利した記憶はありませんでした。

ところが、2年間ソフトボールクラブで頑張った事が、その後の人生

を楽しくしてくれました。

高校卒業後就職した電話帳専門の印刷会社では、電電公社関係の会社とのソフトボール大会を開催していました。試合では9人の中に2人は女子が入ることが規定のため、私はその一人として試合に参加することになりました。思いがけないこの大会参加は、ホームシックになっていた私を助けてくれました。

その後 結婚し多摩市の団地に転居したところ、その団地は団塊世代の方が多く、棟別ソフトボール大会、ブロック別大会とソフトボールづけの日々でした。ご近所付き合いが難しいこの頃ですが、30代40代の時期を楽しく過ごす事ができたと思います。

それから、夫のゴルフ練習について行くと、これまで野球のバットを振り回していた私は、バットをゴルフクラブに持ち替えるようになりました。ゴルフは少々お金のかかるスポーツですが、スコアが良いと楽しく悪いとこの次は頑張ろうと、また楽しくなります。ゴルフを少々かじったおかげで鹿児島での還暦同窓会の交流会に参加できて、また一つ楽しい思い出ができました。



筆者がバッターボックスに立つ

昨年夫が他界し一緒にゴルフができなくなり、寂しい思いをしています。その頃幸いにもグランドゴルフのお誘いがあり、月・水・金と近くの校庭で2時間グランドゴルフを楽しむことができています。グランドゴルフは、ゴルフに比較して簡単なスポーツだと思っていました。これがなかなか奥の深い技術のいるスポーツです。パー3の8ホールの一番長いホールで50m短いホールで15mとゴルフに比較すると歩く歩数も少なく距離も極端に短いです。何も難しい事はないだろうと始めたグ

ランドゴルフですが、ホールを通過してしまふボールにたじたじです。高校入学時のソフトボールクラブへの変更が、私を楽しい仲間との出会いを作ってくれた気がいたします。そして、今までの人生を、楽しく豊かにしてくれたと思っています。明日の事は分からない人生ですが、私以外の方々が私の楽しい人生を作り上げて下さった気がいたします。皆さんは如何でしょう。今はAIがお返事する時代となつて、大切な人との出会いが希薄になってしまいました。悲しいです。これからも人と人との出会いを、大切にしていきたいように。



筆者とグランドゴルフのグッズ

久し振りの神戈陵

昭和53年卒 室屋 真吾

本年9月末、1年と久しぶりの帰省で、母校を訪れてみたくなり（事前に電話連絡して）、カメラを持って行ってみた。昭和53年卒業後もない数年に数回訪れて以来、40数年ぶりに当時自転車通学で通った校門をくぐった。正面から見上げる校舎壁面の「高校名&校章」（写真①）や、



写真① 正門と校舎壁面



写真② 校舎入り口階段

神戈陵尚学舎などの新しい建物なども有ったが、2階下駄箱へ続く校舎入口階段（写真②）の佇まいは当時のままで一気に懐かしさが込み上げて来た。

3年間を思い出しながらゆつくり歩く。1年々3年次の教室の辺りを見上げ、たむろしたこともあった音楽教室や、入学式・卒業式はもちろん文化祭でバンド演奏した体育館を思い出深く眺め運動場へ、ここでは体育授業、クラブ活動を思い出し、いよいよ神戈陵（写真③）、遠くから眺めたり、石段（写真④）を登り学校全体を見渡したりして当時のいろいろな光景が蘇った。なかでも

この石段で赤白に分かれて応援合戦した体育祭が目には浮かび思わず腰かけてあの頃を懐かしんだ。さらに校庭を回って北側へ、当時遊んだ（？）プールがもう無くなっているのが残念だったが、物思いにふけりながら校内一周は終了。

元気で、楽しくて、少し一生懸命勉強し体を動かし、それなりにこれからの人生について考え夢を語り、たまには議論して友情を深め、また多少挫折も経験した。そして「斉藤和義の歌」ではないが、「くすぐったい青い春」も味わったとても充実したかけがえのない3年間であった事を再確認した。



写真③ 「神戈陵」

今年の新入生は1クラスと伺った。規模は小さくなって若干寂しさを感じるが、この日は日曜日の早朝、部活動で登校してきた男女数名の学生に遭遇、皆さん「おはようございます」「こんにちは」と爽やかで元気のよい挨拶をしてくれた。良い先輩が育っているなど頼もしく感じ、また時々訪れたいなと思わせてくれた朝のひとときだった。私たちにとって思い出深い場所、「母校」神戈陵 これからも末永い存在であって欲しい。



写真④ 「神戈陵階段」

「故郷の祭り」 吹上浜砂の祭典

吹上浜は、我ら故郷薩摩半島の西海岸線の大砂丘です。吹上浜・鳥取砂丘・遠州灘砂丘と並び日本三大砂丘に挙げられています。

その吹上浜の貴重な資源である砂を、砂像制作に活かした地域おこしのイベント砂の祭典が、ここまで発展してきています。開催期間は、毎年5月の大型連休です。

吹上浜砂の祭典の歩み

昭和62年に旧加世田市の新川海岸で、第一回目の砂の祭典が開催されました。

全国で初めての取り組みで、全国的にも大きな注目を集めました。



写真① 2017年「砂丘の杜きんぼう」の会場入り口



写真② 2018年「砂丘の杜きんぼう」会場の大きな砂像

祭りのテーマに「砂でつくる夢と感動」を旗印に、今年で第36回の砂の祭典が盛会に終わりました。

会場を発展的に2003年には「かせだドーム」付近に移し、「21世紀にふさわしい継続性のあるイベント」と、リニューアルして開催されました。さらに、祭典を長期に開催を目指すために2011年には、会場を「砂丘の杜きんぼう」に移し盛会に推移してきました(写真①)。

その間「砂の彫刻選手権大会」も開催され、世界のトップアーティストの作品が、見る人に幻想的な世界と夢と感動を与えてくれました。(写真②)

新型コロナウイルス

感染症の流行により、感染症対策として、2021年より「まちなか開催」として、南さつま市役所



写真③ 2023年「命の箱舟」(ケニア・タンザニア)

の市民交流広場を中心として、他市内3か所の会場での分散開催となっています。今後、コロナウイルスの感染が沈静化して、元の会場での大型の砂像を見たいものです。

砂像の制作

今年2023年の祭典の砂像テーマは「アニマルワールドツアー」世界の名所でお会いする動物たち(写真③)でした。

砂像製作期間は、20日間。砂像製作人員は、延べ754人。使用した砂の量は、約555㎡で10tダンプ約100台の大量の砂で作成されています。作成された砂像は37基です。砂像の高さはまちなか開催です。約2〜4mと小ぶりになりました。

砂の祭典には、会場をサルビアやマリーゴールドなどの花2千本で飾られ見学者の目を楽しませてくれました。

いままでの砂像の中で最大級は、1989年製作の高さ17・12mの砂像だそうです。

これからの砂の祭典

南さつま市吹上浜砂の祭典実行委員会では、これまでの蓄積とさらなる創意工夫を加えながら砂像文化の継承と魅力あるイベントとして、地域経済の発展と地域の活性化に努めていくそうです。その為に市民参加・市民が主役となるイベント作り、来場者・市民及び関係者が楽しめるイベントとして実施行くそうです。

会員の皆様、田舎に帰った時には是非とも足を運んでください。(写真④)

南さつま

市吹上浜砂の祭典実行委員会様には、資料の提供を有り難うございました。

編集部



写真④ 以前筆者が撮影した砂像

「故郷の旧所巡り」 豊玉姫伝説

「豊玉姫フィールドミュージアムを巡る」

知覧町には歴史民俗博物館として、「ミュージアム知覧」が平成5年4月に特攻平和祈念館に隣接して開館しました。そして、「ミュージアム知覧」を核として町内の各地域の文化史跡などを顕彰し結び付けて、野外博物館として整備してきています。

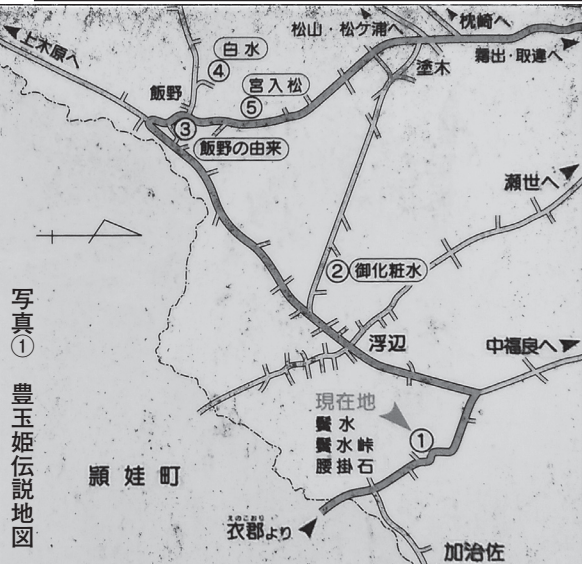
ここでは、**豊玉姫フィールドミュージアム**を巡り（写真①）豊玉姫伝説の一部を紹介します。

知覧の豊玉姫と川辺の玉依姫の旅のお話は、衣の郡（旧穎娃郡開聞）

の薩摩の一宮とされている牧間神社が出发点とされています。親の海神（わたつみのかみ）からは、姉の豊玉姫を田んぼ所の川辺の統治に、妹の玉依姫を畑原野の多い知覧を統治する命により、旅立ちが始まりました。旅立ちから知覧に入るまでの穎娃町での資料が有りませので、此処では割愛させていただきます。

鬘水峠・腰掛石・鬘水

さて、フィールドミュージアムの史跡巡りの最初は穎娃町



写真① 豊玉姫伝説地図



② 鬘水峠

かじさ びんみずとうげ びんみず ごしかけいし 加治佐の鬘水峠・鬘水・腰掛石

知覧町内には豊玉姫の伝説が数多く残されています。海の神である父親に、衣郡より川辺と知覧をそれぞれ治めるため、豊玉姫と玉依姫姉妹が遣わされました。その旅の途中この峠にさしかかり、鬘（耳ぎわの髪の毛）の乱れが気になり「水があつたら入樹しよう。」と言われました。すると不思議なことに清水が湧き出てきました。そのためこの水を鬘水、峠を鬘水峠と言います。また、豊玉姫が腰掛けて休息したと伝えられる腰掛石も道路反対側の斜面の上にあります。この峠を越えた豊玉姫一行は浮辺・飯野・塗木・霧出と旅を進め、取違で宿を取ります。朝になり本来行くべきだった地を姉妹で取り違えてしまったため、豊玉姫は知覧を、玉依姫は川辺を治めることとなりました。



取違の由来
も珍しい集落名です。全国的に

取違（とりちがひ）の由来
姉妹の姫達はそれぞれ川辺と知覧を治めることになっていきましたが、この地で宿泊した朝、行き先を取り違えてしまいました。神様が行き先を取り違えたことから、取違集落の名がついたそうです。全国的にも珍しい集落名です。

に近い加治佐の鬘水峠（写真②）から始まります。峠超えて直ぐ姫達は、鬘の乱れを直すため**腰掛石**（写真③）に座つたら、そこに水（鬘水）が湧き出てきたと伝えられています。姫達の一行はその後、浮辺川の水でお化粧直しされたそうです。

「御化粧水…おごそみず」

飯野（いいの）の由来
姫達一行が昼食を摂ったところが、今の飯野集落で、飯野の名がついたそうです。一行は塗木の入り口の「宮入の松」で隊列を整えて取違に向かいました。

いいの ゆらい 飯野の由来

知覧町内には豊玉姫の伝説が数多く残されています。海の神である父親に、衣郡より川辺と知覧をそれぞれ治めるため、豊玉姫と玉依姫姉妹が遣わされました。加治佐より鬘水峠を越え、浮辺から飯野まで来た豊玉姫一行はこの集落で昼食を取りました。そのため、この集落を飯野と呼ぶようになったと伝えられています。その時、昼食の干飯を洗ったと伝えられる白水という場所も近くにありました。また干原という地名もこの集落に残されていました。豊玉姫一行はこの後塗木を抜けて取違へと向かいます。



③ 腰掛石

猿山の鬘石

知覧町内には豊玉姫の伝説が数多く残され、知覧をそれぞれ治めるため、豊玉姫と玉依姫姉妹が遣わされました。豊玉姫一行は、衣郡を発ち知覧へ加治佐か木・取遣と道中を進め、結局本来治めるはずの姫が川辺を治めることとなります。この道中この岩もそんな豊玉姫伝説の一つで鬘石と(耳ぎわの髪の毛)をくしでとがしたとされる(1843)に編集した「三国名勝図絵」に「宮村」とあり。江戸時

ています。海の神である父親に、衣郡より川依姫姉妹が遣わされました。ら入ります。鬘水峠を越え、浮辺・飯野・塗であった場所とは逆の、豊玉姫が知覧を玉依に添って多くの伝説が残されています。呼ばれています。豊玉姫がこの岩に座り、驚くことに薩摩藩が天保14年猿山宮址の上に、皇女の御鬘をくしけずりし代からよく知られていた伝説のようです。



公民館の庭の取遣の由来



④ 鬘石



猿山

妹の玉依姫は、川辺の方が水田に富んでいることを知り。朝食も早く切り上げて足の速い馬で向かいました。姉の豊玉姫は、妹の玉依姫が川辺に向かったことを知り、足の遅い牛で知覧の郡に向かいました。

豊玉姫御陵
(写真⑤)
知覧の上郡の田んぼの中に、豊玉姫の宮居が建てられました。その碑が静かに残っています。

途中、豊玉姫は峯苦集落の**猿山の山頂**で鬘を直して、郡に入りました。鬘を整えるとき座ったとされる石を**鬘石**(写真④)と呼んでいます。



⑤ 豊玉姫陵の鳥居全体

豊玉姫神社(写真⑥)
豊玉姫御陵から現在の武家屋敷の一角に祭られ、その後現在の知覧下郡の豊玉姫神社に鎮座されています。**飯倉神社**(写真⑦)
玉依姫は現在の神社の南西に約1kmに位置する飯倉山の社に鎮座されましたが、その後、現在の川辺の宮の飯倉神社に遷座されています。今回、飯倉神社を訪問した際に新たな驚きの発見がありました。
玉依姫は姉の豊玉姫の子供を育てあげて、その後成人になったその子との間に生まれたのが天皇家初代神武天皇であると記されていました。
遠い神代の豊玉姫伝説を主に知覧町内の豊玉姫フィールドミュージアム

の顕彰を巡り紹介しました。
豊玉姫伝説で結ばれている牧間神社・豊玉姫神社・飯倉神社は、顕娃町・知覧町・川辺町の社として祀られ、住民の心のよりどころとして親しまれていると思います。 編集部



⑦ 飯倉神社



⑥ 豊玉姫神社

私の作品展

パステル画の思い出



憩い



花の調べ



港

パステル画の思い出

昭和35年卒

深町泰治
(勝目出身)

現役時代、製薬会社勤務で横浜に在勤していた時小学校低学年だった長男と次女が通っていた自宅近くの絵画教室で私も気分転換にと思って同じ教室に入りパステル画を習いました。それ以後、定年近くまで気分の癒しとして趣味の絵画に親しんできました。

教室の作品展や友人関係の作品展等に展示して楽しんできました。

今でも時々風景や草花等のスケッチをしたり美術館展に通ったりして余暇を過ごしております。

私の作品展

田部田の田んぼアート



川辺小の150周年とかごしま国体



植え付け前



お茶むらい



H29年せごどん

私の作品展

田部田の田んぼアート

たべた田んぼアート実行委員会

事務局長 南田祥作 (昭和51年卒)

南九州市川辺町田部田地域で田んぼアートに取り組んでいるのは、農事組合法人たべた田んぼアート実行委員会です。田んぼアートは、色の異なる稲を使い田んぼをキャンパスに見立てて、絵や文字を描き出すものです。今年には川辺小学校創立150周年と鹿児島国体開催の年ですので応援メッセージを描きました。

取り組み始めたのは、平成24年より今年で12年目になります。

取組のきっかけは、当時の霜出市長が姉妹都市である青森県平川市のねぶた祭りを訪ねた際に隣町の田舎館村に田んぼアートなる水田に絵を描いたものを見学し、大変感動され是非南九州市でも取り組みないかと市議会議員懇談会で報告したところ当時市議会議員であった大藪秀己氏が手を挙げて田部田地域で取り組み始めたところでした。

田んぼアートの目的は、日本人の食の原点である「お米」の成長を通して農業・農村に関心を持ってもらうことと市の観光スポットになるようにと努力しているところです。

また、田んぼアートを基軸に地域活性化も出来ればと「田んぼアート鑑賞会&夕涼み会」を8月お盆前に開催し、屋台や催し物・抽選会・最後に仕上げ花火を行っております。

毎年、図柄を変えて描いておりますので川辺に帰省する機会がありましたら是非田部田の田んぼアートを見学にい

らしてください。

【田んぼアート情報】

所在地：南九州市川辺町田部田4357 (川辺高校より徒歩15分程度)

田んぼアートの規模：水田面積40a

稲の種類・色：6色 紅あそび(赤紫)、雪あそび(白)、

緑大黒(濃いみどり)、紫大黒(むらさき)、

神丹穂(赤い穂が出る)、ユメハヤト(緑)

【田んぼアートの植付方法】

田んぼアートは、通常光波測量機器等により原画の座標を田んぼに竹串等で立ててビニール紐で輪郭を引き色分けして植えますが、1週間程度かかる作業のため川辺ではできません。

川辺では、田んぼと原画に4m間隔の線とヒモを張り参加者の感性で植えています。

【農事組合法人たべた】

農事組合法人たべたは、田部田地域の農地の荒廃防止と有効活用を目的に平成9年に地元有志農家10名で転作大豆の共同栽培からスタートした任意団体が平成27年2月に30人が組合員となり法人化し、大豆、水稲、飼料用稲(WSC)、麦、そば等を35ha作付けしています。

母校美術部の生徒作品



第69回県美展 洋画入選
題名「見えぬもの」 3年 小山 桃果



第69回県美展 洋画入選
題名「放課後」 2年 福原 彩



川辺祇園祭 御所車展示場シャッター

書道部 文化祭書道パフォーマンス作品

(本校正門横に展示)



母校書道部の生徒作品

神戈陵 俳壇・歌壇



【俳句】

前橋 竹之(昭和二五年卒)

- 一、桑の実や竹馬の友の懐かしく
- 二、花蜜柑火を噴く島に香りけり
- 三、ふるさとの夕暮長き青田道
- 四、父の日の父の流儀の手酌かな
- 五、暮れぎはの影ぶら下がる系瓜棚

大平 政弘(昭和三四年卒)

- 一、手を引かれ片や引きずる千歳鈴
- 二、晩成の色充ち溢る柿落葉
- 三、落葉舞う旅籠の屋号しるき街
- 四、冬帝や剥がれて舞へる売家札
- 五、朝市へ借りる宿下駄今朝の冬

森山 昭利(昭和四一年卒)

- 一、薄紅の花も際立つ空の青
- 二、歯を磨く水のぬるさや春間近
- 三、早乙女の襷の紅に鷺の白
- 四、卯の花や葉陰に白く雨上がり
- 五、プラタナス青さ残して秋は来ぬ

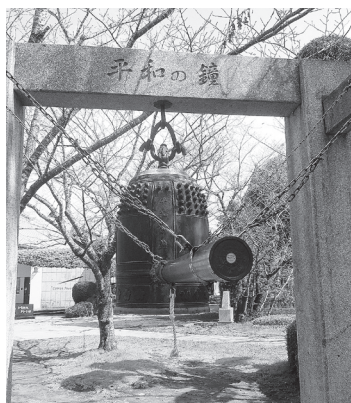
橋本起世子(昭和四一年卒)

- 一、車窓より流れる故郷山薫る
- 二、青々とそよぐ阿蘇の草千里
- 三、秋空に特攻平和の鐘響く

【川柳】

森山 昭利(昭和四一年卒)

- 一、コロナ禍に日がな一日セミを聞く
- 二、政治屋は神から票に宗旨替え
- 三、蚊は飛ばずセミも聞こえぬこの暑さ
- 四、駄句駄句と冷や汗流し句作かな
- 五、介護の場人手が不足保育でも



神戈陵 俳壇・歌壇



【短歌】

橋本起世子(昭和四一年卒)

- 一、君の背に長い年月通りすぎ
残りの道のり共に歩む
- 二、青空に真っ直ぐのびるスカイツリー
世界の平和祈り願う
- 三、灯り消し見上げた空にブルームーン
スカイツリーと輝ききそう
- 四、チュンチュンと雀が一羽歩みより
心の隙間うめつくしけり



田中さよ子(昭和四一年卒)

- 一、手を振れば手を振り返す舟下り
ベルリンの壁に沿い行く川の
- 二、麦畑遠く広がる丘を行く
雨降りやめば雀群れ飛ぶ
- 三、朝夕に教会の鐘聞こえきて
神知らぬ胸を温め呉れる

(三首連作にしました)

母校だより

川辺高校SDGsプロジェクト

過酷な学習環境

近年、南九州市では気温30度を超える猛暑日が増加し、生徒は非常に過酷な環境の中で学習しています。エアコンは設置されているものの、教室が断熱されていないため、夏は非常に暑く、冬も寒いといった状態



断熱化プロジェクト (8月)

です。南国鹿児島とはいえ、冬には霜や氷が張ったり、雪が降る日もあります。

生徒が主体的に取り組む断熱改修

暑くて寒い教室を断熱改修したい！

そこで、断熱ワークショップで教室の改修を行い、快適な学習環境を作り、生徒たちに夢に向かって頑張ってもらいたいと考えています。

断熱ワークショップは、川辺高等学校の生徒約30名が参加し、生徒が主体的に企画・準備に取り組むとともに、断熱から地球環境やカーボンニュートラル、そしてSDGsについても広く学習していきます。

今回の断熱改修ワークショップを皮切りに「鹿児島県立川辺高等学校SDGsプロジェクト」を立ち上げ、学校でのSDGsをテーマとした学習の実施や、高校の魅力発信、地域や企業との連携し、これからの地域・社会に役立つ人材育成を目指します。

令和4年度神戈陵教育振興会奨学生決定

令和4年度「神戈陵教育振興会奨学生」として、スポーツ振興面で、3年生の上牧大佳さん(川辺中卒)、迫莉々権さん(川辺中卒)、砂坂春璃さん(川辺中卒)に決定しました。令和5年1月10日(火)に本校校長室で認定書及び奨学金を交付しました。



令和5年度のスタート



4月7日(金)、第78回入学式が本校体育館で挙行され、新入生36名を迎えました。全校生徒132名(男子47名女子85名)で令和5年度がスタートしました。



新入生代表



川辺高校SDGsプロジェクト —ふるさと納税で応援—

■ プロジェクトの意義

■ 子供たちの環境教育 —九州初の取り組み—

この断熱ワークショップは、2019年に岡山県で始まったのを皮切りに、長野県、埼玉県、神奈川県、島根県などで開催されていますが、九州では初の取り組みとなります。

このような取り組みに、いち早く踏み出すことで、物価高騰の中での省エネ化の有効性及び学校のリノベーションの意義をみんなで考えるきっかけとし、子ども達の環境教育にも貢献していきたいと思っています。

さらには、リノベーション等の経験を通し、生徒自らの住む住宅にも目を向ける活動になればと考えています。

■ 「ゼロカーボンシティ」を目指した取り組み

南九州市は、2022年2月の議会にて、2050年までに温室効果ガスの総排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。

将来像として掲げる「人と自然が共有する 活気あふれる 住みよいまち 南九州市」の実現に向け、循環型社会の形成への取り組みを加速させ、本市の恵まれた自然環境を次の世代につないでいくため、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」へチャレンジしていきます。

■ 断熱改修の他地域への波及

今回の断熱ワークショップの作業や取組内容は、市内外に発信していきたいと考えております。地域での断熱の重要性を多くの方に知っていただき、今後の公共施設や住宅の断熱改修を進めるきっかけになることを目指します。

地元の高校の存続と活性化のために

■ 川辺高等学校活性化協議会による活動

川辺高校では少子化の進展により、年々、生徒の減少が進んでいます。

2012年には、全校生徒数は450名でしたが、現在は132名となっています。このままでは廃校の危機。地域から高校がなくなるということは、地域がますます衰退するため、存続させることが大切になります。

そこで川辺高校では、地域の高校を守り、地域や社会で活躍する人材を育成していくために、地域や卒業生と一緒に川辺高等学校活性化対策協議会を設立し、高校の活性化、生徒の進学支援などに取り組んできました。



〔お知らせ〕

○神戈陵教育振興会奨学生（1年生対象）授与式の中止について優秀な成績で入学した生徒に對しまして、毎年4月に授与式を行い、認定書及び奨学金をこれまで交付してきましたが、諸般の事情により、令和5年度から中止することになりました。

○令和5年度神戈陵教育振興会奨学生（3年生対象）について例年は7月に、奨学生になった生徒への授与式を行っておりましたが、今回は事前の審議の結果、授与対象者なしということになりましたので、授与式は行いませんでした。

○令和5年度川辺高校中学生一身体験入学
8月22日（火）に行いました。

なぎなた部についての連絡

令和5年度全国高等学校総合体育大会のなぎなた競技が、8月4日（金）～8月7日（月）に北海道千歳市で行われました。

台風のために、帰りの便が欠航となり2日間東京に足止めされるアクシデントはありましたが、無事終えることができました。

団体競技・個人競技・演技競技の全ての部門に総勢8名の部員で参加してきました。

今年度は、団体試合は予選リーグ敗退、個人試合は平が決勝トーナメント1回戦敗退、和志武が予選リーグ敗退、演技競技は塗木・上園チームがベスト16、和志武・二宮チームがベスト32という成績でした。

残念ながら入賞できませんでしたが、10月に鹿児島県枕崎市で行われる国体では少しでも良い成績が残せるよう頑張っていきます。引き続き応援よろしくお願ひします。

追伸

10月に鹿児島県枕崎市で行われる国体メンバーは、成年の部は全員川辺高校卒、少年の部は全員川辺高校現役生です。





地盤改良のあらゆる問題を解決。天然砕石パイル工法で住宅地盤が固まる。

株式会社 加覧組

代表取締役 新谷 昭彦 (S59年卒)

〒897-0213
鹿児島県南九州市川辺町小野1184
TEL 0993-56-0321
FAX 0993-56-2173

ENEOS株式会社特約店
三井住友海上火災保険株式会社代理店
東京海上日動火災保険株式会社代理店

株式会社 前野石油
株式会社 前野設備

代表取締役会長 前野 政美
代表取締役社長 前野 耕作

- 石油事業部 ■ガス事業部
- 車販・太陽光事業部
- 住宅関連事業部 ■損害総合保険事業部
- 車検事業部 車検・板金センター

(国土交通省運輸局指定工場 指定番号 鹿-885)
本社 〒897-0211 鹿児島県南九州市川辺町両添1026
TEL0993-56-1336(代) FAX0993-56-3983

関東知覧会

2024年総会は10月20日(日)
開催予定。
親戚・知人の皆さんを
お誘いください。

会長 前原 東二

川辺高校出身者 役員幹事紹介

大平 政弘 (S34)
峯 苦 稔三 (S41)
緒方むつ子 (S41)
井尻 啓子 (S41)
佐多ふく子 (S41)
三宅 保弘 (S54)
瀬戸口欣宏 (S55)

連絡先 136-0073 江東区北砂1-4-16-603
事務局 副会長・幹事長
尾曲 正孝 090-8854-3263

古い町並みに心やすらぐ町
平和の尊さを語りつぐ町

関東さつま川辺会

第31回総会は、
開催予定日が決まり次第案内状で
お知らせいたします。

会 長 内 村 哲 也 (昭和50年卒)
副 会 長 吉 留 浩 一
副 会 長 山 下 裕 一 郎 (昭和44年卒)
(兼任)
副 会 長 川 原 修 二 (昭和45年卒)
(兼任)
副 会 長 峯 元 政 公 (昭和46年卒)
(兼任)
副 会 長 田 中 勝 之 (昭和56年卒)
(兼任)
会 計 監 査 加 瀬 美 千 代 (昭和50年卒)
会 計 監 査 足 立 玲 子 (昭和45年卒)
幹 事 長 峯 元 政 公
副 幹 事 長 有 村 公 美 子 (平成6年卒)
事 務 局 長 草 原 陸 雄
事 務 局 田 中 勝 之
会 計 下 之 蘭 ルリ子 (昭和51年)
会 計 山 下 裕 一 郎

(〇年卒)は川辺高校卒業年)

連絡先 〒301-0022 龍ヶ崎市南が丘2-12-11
事務局 長 草 原 陸 雄 (080-2009-3424)

昭和38年卒の皆さん

まだ、老け込んでヤッセンド!
同窓会・懇親会に出しましょう。
若いころの話にひたり、
心身ともに、若返ろう!!

昭和38年卒有志

南谷綜合法律事務所

弁 護 士 南 谷 知 成 (昭和36年卒)
弁 護 士 南 谷 敦 子 (長女)
弁 護 士 南 谷 博 子 (三女)
パライリーガル 西 真由子 (平成17年卒)

南谷朝子公認会計士事務所

公認会計士 南 谷 朝 子 (二女)
〒810-0041
福岡県福岡市中央区大名1丁目8-10
福岡安藤ハザマビル 5F
TEL : 092-724-1113
<http://minamitani-law.jp/>

みなみにひろたか

南谷洋至法律事務所

弁 護 士 南 谷 洋 至
(昭和49年卒)
金峰町白川・阿多中出身

Empty your mind. Be water, my friend.
天籟遠く先哲の我にも言ふ声あらん

〒810-0041 福岡市中央区大名一丁目8番12号
第二西部ビル3階・南谷洋至法律事務所
TEL 092-736-1531 FAX 092-736-1533
(川辺高校福岡同窓会事務局)

昭和40年卒業の みなさ～ん

後期高齢の我々だけど、
まだまだ前向きに
がんばりましょうね☺
同窓会で会いましょう

(昭和40年卒有志)

皆様的一段のご健勝を お祈り申し上げます

前会長
小原 東洋明
(昭和38年卒)

会員の皆様のご健勝を お祈り申し上げます。

元会長 (昭 34 年) 大平政弘
〒247-0025 横浜市栄区上之町 47-16
電話 : 045-891-0197

ミネ・アニマルヘルス

獣医師 峯 苦 稔 三
(41年卒)

家畜の病気を予防し、安心・安全な畜産物の生産に取り組んでいます。

〒300-1622
茨城県利根町布川454-180
電話：090-2440-7109

S41年卒のヨカオゴジョ ヨカニセさん達へ

同窓会の総会・懇親会に
皆さん出てきてください。
最近、ヨカニセさん達の
出席がないです。元気な
顔を見せてください。

(昭和41年卒・役員一同)

シモ動物病院

院長 霜 出 幸 七
(41年卒)

愛犬・愛猫の病気の予防
治療に、ご利用ください。

〒891-0113
鹿児島市東谷山3-36-11
電話 099-267-5959

昭和45年卒業の皆様方へ!!

第47回総会が、令和5年5月20日に、グランドヒル市ヶ谷にて開催されました。

45年卒業の参加者は3名でした。

45年卒の仲間も徐々に減少してきています。

皆様方の御健勝と御多幸を祈ります。

この会報誌を受領された方は48回総会に参加を、是非に!!

税理士法人スリーエス

「支えたい未来がある」を社是とし、いろいろな世代の方々に、
いろいろな企業経営者の方々に、法人税、所得税、相続税などの
税務相談、税務申告、事業承継などの役務提供を行ないます。

組織の概要

〈所在地〉

千葉事務所

千葉市中央区中央2丁目5-1

千葉中央ツインビル2号館 10階

TEL 043-308-0351 (代表) FAX 043-224-2960

東京事務所

東京都中央区京橋2丁目12番4号 光和ビル7階

TEL 03-5159-6021 (代表) FAX 03-5159-6028

〈構成〉

代表社員 税理士	前原 東二
代表社員 税理士	藤本 明美
社員税理士	渡部 恵理子
社員税理士	齊藤 好一 (元東京国税局職員)
公認会計士・税理士	前原 大志
税理士	柳橋 治 (元東京国税局職員)
税理士	冬木 千成 (元東京国税局職員)
税理士有資格者	松浦 正幸 (元東京国税局職員)
税理士有資格者	武内 健 (元東京国税局職員)

〈提携先〉

弁護士	前原 香、鎌倉鈴之助、川西 満
司法書士	福田雅行、最首美枝子、石川和司、白戸美紀
グループ法人	株式会社スリーエス
	株式会社スリーエスA&C
	社会保険労務士法人スリーエス
	行政書士法人スリーエス



支えたい未来がある
スリーエスグループ

グループ名名の3つのS

Sure(確実)、Speedy(迅速)、Service(サービス)

活動の基本姿勢です。

企業、各種団体、個人の皆さまの様々な問題・課題の解決に、
各事業の専門家が一丸となって走り続けています。



税理士法人スリーエス

税務申告・税務相談 / 会計指導・記帳代行 / 事業承継・相続サポート /
各種コンサルティング / 開業支援・会社設立支援

所在地 〒260-0013 千葉市中央区中央 2-5-1 千葉中央ツインビル 2 号館 10F
〒104-0031 東京都中央区京橋 2-12-4 光和ビル 7F



株式会社スリーエス

経営戦略の立案 / 組織再編 / 財務デューデリジェンス /
企業再生に関するコンサルティング / 業務システム導入・サポート /
アウトソーシング / 人材紹介・派遣 / M&A・PMI コンサルティング /
医療・調剤コンサルティング / 調剤薬局 /
不動産コンサルティング / 相続サポート

所在地 〒260-0013 千葉市中央区中央 2-5-1 千葉中央ツインビル 2 号館 10F
〒104-0031 東京都中央区京橋 2-12-4 光和ビル 7F



社会保険労務士法人スリーエス

労働・社会保険手続き代行 / 就業規則の作成・改定 /
雇用関係助成金申請 / 労務管理・労働相談

所在地 〒260-0013 千葉市中央区中央 2-5-1 千葉中央ツインビル 2 号館 10F

スリーエス *nexte*

承継 ~想いをつなぐ 企業も 家族も 人生も~

専門家集団だからこそできる想いに寄り添ったきめ細やかな
承継の為にサービスを継続的にご提供します。

スリーエス nexte 会員数 4,000 人突破

株式会社 スリーエス A&C

納車前整備 PDI / 部品取付 / 清掃業務 他

所在地 〒260-0013 千葉市中央区中央 2-5-1 千葉中央ツインビル 2 号館 10F

事業所 千葉・神奈川・岡山・大分・愛媛・福岡・福島・長崎・愛知・
秋田
今後の展開：仙台



行政書士法人スリーエス

官公署への申請書類の作成・提出手続き代行

所在地 〒260-0013 千葉市中央区中央 2-5-1 千葉中央ツインビル 2 号館 10F

NPO 法人 アジアの子ども達を支援する会

20年にわたり、日本を含むアジアの子ども達に
支援活動を続けております。

所在地 〒260-0013 千葉市中央区中央 2-5-1 千葉中央ツインビル 2 号館 10F

われら神戈陵同窓生

われら神戈陵同窓生
久しぶりの元気な再会に、笑顔がいっぱいです。
写真撮影・編集 田中勝之 (昭和56年卒)



ご来賓と役員の方々 (テーブルA)



昭和32,36年卒 (テーブルB)



昭和41年卒 (テーブルC)



昭和34,38年卒 (テーブルD)



昭和40,44,45年卒 (テーブルE)



昭和35年卒 (テーブルF)



昭和47年卒 (テーブルG)



昭和48年卒 (テーブルH)

われら神戈陵同窓生



昭和50年卒 (テーブルH)



昭和52,53年卒 (テーブルI)



昭和43,49,59年,平成6年卒 (テーブルJ)



受付準備が一段落



開会直前. 久しぶりの再会



焼酎コーナーにて



鹿児島から特別参加 (昭和41年卒)



昭和34年卒 (閉会后)

われら神戈陵同窓生



受付中



総会開始. 司会・川原副会長と森山会長



高田本部同窓会会長 (昭和48年卒)



前田川辺高校校長



小原前会長 (昭和38年卒) の音頭で一本締め



峯苔副会長の閉会のあいさつ. 来年また逢いましょう



事務局からのお知らせ

第四十七回総会・懇親会の開催

コロナ禍で自由な活動ができない厳しい日々が続きました。コロナ禍もある程度落ち着き、第四十七総会・懇親会を五月二十日開催しました。まだ時期的に参加することをためらった会員も多かったことと思いますが、会員七十二名のご参加を頂きました。

総会付議事項は、(各議案の資料参照)

- 第一号議案…会務報告
 - 第二号議案…会計報告
 - 第三号議案…会計監査報告
 - 第四号議案…役員改選
- 審議の結果、各議案とも全会一致で可決されました。

来年の総会・懇親会には、より多くの会員のご参加をお願いします。

会員のつながり

先輩の皆様が同級生と仲良く歓談

している姿には、元気をもらえます。そして私たちもそうありたいなど、

同級生同士話しています。また後輩の皆さんにもそうなっていただけたらいいなと、改めて思います。この会の存在を知らなかったと、いう方もいらつしゃいます。機会がありましたら、ぜひ周りの同窓生に声をかけていただければ有り難いです。それで同級生の輪として先輩後輩のつながりが広がることで、また新たな会話楽しみが増えればと願っています。今回は、地元鹿児島から本総会懇親会に3名の方が出席してくださいました。そういう幅広い交流もますます増えるといいです。

年会費について

東京同窓会は、会員の皆様からいただいた会費で運営されています。いつもご支援いただき、有り難うございます。

今後とも皆様の会費の納入に、ご

◆ 令和4年度 川辺高等学校東京同窓会 会務報告 ◆

月 日	事 項	場 所	備 考
1 2月19日(土)	役員会	ルノアール 飯田橋西口店	総会・懇親会の6月4日(土)開催決定 於:ホテル グランドヒル市ヶ谷
2 3月19日(土)	総会・懇親会、案内状発送	ルノアール 飯田橋西口店	役員の一部参加
3 4月25日(金)	案内状返信、データ集計		
4 5月14日(土)	役員会	薩摩の里	出席者数確認と総会の進行等打ち合わせ
5 5月28日(土)	総会用備品借入等	盈進社	
6 6月4日(土)	総会・懇親会 開催	ホテルグランドヒル市ヶ谷	参加者数:51名 総会:12時00分~12時20分 議事:1.会務報告、2.会計報告、3.会計監査報告 上記議題はすべて満場一致で可決 懇親会:12時30分~14時30分
7 6月8日(水)	総会用備品返却等	盈進社	
8 6月25日(土)	総会・懇親会、結果検討会	日本橋レストラン TOYO	役員の一部参加
9 7月25日(月)	他校から案内	薩南工業高校 同窓会関東支部	総会・懇親会開催(10/1)案内受領
10 8月1日(月)	他団体案内	関東知覧会	10月16日(日)開催予定の総会・懇親会中止連絡受領
11 8月22日(月)	母校体育祭	川辺高等学校	9月10日開催予定連絡受領(関係者のみ)
12 9月10日(土)	会議	ルノアール 飯田橋西口店	役員の一部参加 会報誌「神戈陵第46号」編集校正作業
13 10月24日(土)	懇親会	九段下「かもめ」	前田校長の上京に合わせて一部役員と盈進社の下園社長参加
14 11月5日(土)	評議員会	飯田橋 TKP 貸し会議室	1.令和5年総会・懇親会について 2.会報誌「神戈陵第46号」発送作業



第47期～第48期(令和5年～6年)役員(敬称略)

役 職	氏 名	卒業年度	備 考
会 長	森 山 昭 利	昭和 41 年	
副 会 長	峯 苦 稔 三	昭和 41 年	会報誌担当
	川 原 修 二	昭和 45 年	総会担当
	松 永 郁 代	昭和 40 年	
	橋 本 起 世 子	昭和 41 年	
	岡 本 伊 津 子	昭和 43 年	兼幹事会計
	椎 原 直 子	昭和 48 年	
幹 事 長	山 本 朗	昭和 48 年	
副 幹 事 長	内 村 哲 也	昭和 50 年	
事 務 局 長	林 昭 子	昭和 50 年	
副 事 務 局 長	田 中 勝 之	昭和 56 年	
事 務 局 員	上 塩 入 浩 一	昭和 63 年	
	有 村 公 美 子	平成 06 年	
会 計 監 事	函 師 田 格	昭和 47 年	
	山 下 裕 一 郎	昭和 44 年	新任
幹 事 会 計	岡 本 伊 津 子	昭和 43 年	兼副会長
	蔵 元 明 洋	昭和 49 年	
幹 事	松 山 満 芳	昭和 37 年	
	堂 園 俊 秋	昭和 38 年	
	鳥 海 睦 子	昭和 38 年	
	深 井 麗 子	昭和 40 年	
	佐 藤 妙 子	昭和 44 年	
	菊 永 道 昭	昭和 45 年	
	高 倉 都	昭和 46 年	
	川 平 悦 郎	昭和 47 年	
	西 野 正 剛	昭和 47 年	新任
	内 原 健 一	昭和 48 年	
	中 藪 幸 男	昭和 50 年	
	畠 中 耕 一	昭和 50 年	
	下 之 藪 ルリ子	昭和 51 年	
	渡 辺 淳 子	昭和 52 年	
	堂 園 孝 美	昭和 54 年	
	樋 渡 信 也	昭和 55 年	
顧 問	鯨 坂 悟 郎	昭和 32 年	
	大 平 政 弘	昭和 34 年	
	小 原 東 洋 明	昭和 38 年	

協力お願い申し上げます。
母校での活動

今年もなぎなた部は北海道のインターハイに参加し活躍しました。また学校ではいろいろな活動をしてい

ます。学校のホームページ・ブログを見ると生徒の皆さんがどのような活動をしているか見ることが出来ます。最近ではSDGsを目指して、『辺高(なべこう)から未来へ』というプロジェクトに取り組みたりもして

います。生徒の有志の皆さんと卒業生、地元工務店などで協力しながら「断熱」により省エネ・ゼロカーボンに貢献しようとしています。今後とも、母校を応援していきましよう！



第48回 総会・懇親会のご案内

令和6年の総会・懇親会をご案内します。

(1) 開催日：2024年5月26日(日)

(令和5年と異なり、日曜日の開催です)

(2) 時 間：午後12時～15時

(3) 場 所：ホテルグランドヒル市ヶ谷

(JR及び東京メトロ市ヶ谷駅から徒歩5分)

当日は、お楽しみ抽選会も企画していますので、多くの会員の皆様のご参加をお願いいたします。

昭和54年卒がメインの担当年度幹事、44年卒の皆さんは補助として会の円滑な運営にご協力お願いいたします。

最終案内は、令和6年3月までに発送予定です。

何を創るかはおまかせします。どのように造るかをお手伝いします。

知的
創造

必要な時に、必要なだけ。

Eishin 株式会社 盈進社
えい しん しゃ

代表取締役社長 下園 典子 (南さつま市金峰町出身)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-5-7 東専堂ビル5F

TEL 03-3262-3471(代) FAX 03-5210-7226

URL : www.eishinsya.co.jp Eメール : info@eishinsya.co.jp

川辺高等学校東京同窓会事務局

源泉混^{げんせんこん}として、
昼夜を^ああ^かか^ずず、
科^あに^みみ^ちち^てて、
面^{しか}る^ああ^らら^ずず、
四^し海^{かい}に^かか^かか^ずず、
後^あに^みみ^たた^るる、
放^{はな}つ^たた^るる。



◆ホームページについて
 東京同窓会が開設して
 いるホームページがあり
 ます。総会の時の写真を
 アップしています。
 また、そのほか、母校
 のホームページなどあり
 ますのでご案内いたしま
 す。
 是非、覗いてみてくだ
 さい。

川辺高校東京同窓会ホームページ

http://kawanabe-hs-tokyo.com/



フェースブック：ページ名

「川辺高校 東京同窓会FBコミュニティ」



川辺高校ホームページ：

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/kawanabe/

川辺高校公式ブログ：

http://kawanabe.edu.pref.kagoshima.jp/



◆ 令和4年度 川辺高等学校 東京同窓会 会計報告・監査報告 ◆

自：令和 4年 1月 1日
至：令和 4年12月31日

収入の部	金額	支出の部	金額
総会会費収入	50名 500,000	総会関連費	490,863
年会費収入	369名 566,000	会報誌関連費	431,068
会報誌広告収入	15件 160,000	会議費(会場費等)	5,910
寄付金(御祝儀含む)	55名 179,000	通信関連費	6,756
ゆうちょ利子	1	他会出席	10,000
		雑費	79,457
		手数料(振込料・郵送通知等)	79,718
前期繰越金	752,765	翌期繰越金	
		ゆうちょ	826,071
		振替口座	162,168
		現金	65,755
合 計	2,157,766	合 計	2,157,766

令和4年6月4日総会出席者数

出席者総数 51 名

内訳(会員男性 32 名、会員女性 18 名、来賓者 1 名)

上記の件、監査の結果相違ありません。

令和 5 年 3 月 4 日

会計監事 岡師田 格



編集後記

会報誌「神戈陵」第47号も、難産の未発行にこぎつきました。

編集後記を中原信寛さんに、40号から担当していただきましたが、今回の号で途切れてしまいました。毎号格調高い「詩」を読むような編集後記が読めなくなったのは、残念です。また、復活していただくことを心から願っています。

「神戈陵」47号は、思いがけない会員から、投稿の申し出がありました。ポルト・Oさん・佐多さん・深町さん助かりました。それと、室屋さんの投稿で、「母校「神戈陵」末永い存在を！も印象に残りました。

特別寄稿で44号46号を担当頂いた上田さんと、47号を担当頂いた上田さんが親子であったとは奇遇でした。ご執筆、広告掲載にご協力いただきました方々へ厚く御礼申し上げます。

会員の皆さん、「神戈陵」を親しく読んでいただければ幸いです。投稿もお待ちしています。 編集部

編集者

森山、川原、松永、橋本、山下、山本、蔵元、内村、田中、岡本、峯苔





正門と母校玄関前のロータリーの大樹の萵苣(チシャ)の木(樹齢約75年)
～母校の生徒さんたちを優しく見守っています～